

# 平成26年度事業報告

県下の暴力団勢力は、暴対法の相次ぐ改正、暴力団排除条例の制定、警察の暴力団に対する集中取締りとこれに連動した行政、企業、各種団体の暴力団排除に向けた取組みの強化等による社会全体における暴力団排除気運の高まりにより、平成25年末現在13団体約290人の勢力（平成26年末現在9団体約220人）が確認され減少傾向にあります。

しかしながら、福岡県の事案にみられるように、一般人を巻き添えにした抗争事件が後を絶たず、また、大阪の山口組直参組織の武器庫から、けん銃はもとよりダイナマイトや手榴弾が押収されるなど、その本質は全く変わっていないどころか、殺傷能力の高い武器を保有するなど、益々凶悪化している現状が窺えるところであります。

本県でも、勢力が減少しているとはいえ、その全てが山口組傘下団体で、山口組の一極集中状況が続いている。とりわけ二代目倉心会が他の消滅した団体の残党を吸収して勢力を拡大している現象が顕著であり、予断を許さない状況にあります。

特に近年、暴力団の潜在化が顕著（勢力減少の一因とも考えられる）であり、一般人（会社）を装った共生者（社）、いわゆるグレーゾーンの者を介在させて社会・経済システムに介入し多額の資金を得ているとみられるところであります。

これら情勢から、グレーゾーンを含め、さらなる暴力排除、暴力追放に関する広報啓発活動を強化するとともに、これら人物からの不当要求やクレームの増加による、専門的知識や継続的な指導・助言が必要な暴力相談の増加、生活に困窮した暴力団からの離脱等の相談及び暴力団被害者の救済事象の増加等が予想されました。

以上の状況を踏まえ、平成26年度は、

- 相談事業の活性化を図って、グレーゾーンの者の情報を収集するとともに、警察と連携して、これらの者に対する事件化を図ることにより、グレーを黒にしていく
- 暴力団、あるいは元暴力団等の離脱・社会復帰支援事業を推進して、グレーを白にしていく
- 若者を暴力団にさせない、影響を受けない事業を進めるために、若者向け教材を作成し、学校等に出かけて啓発活動を推進する

事業を平成26年度の重点事業として実施しました。

事業名	実施項目	実施内容	理事長	専務理事
1 広報啓発活動事業	(1) 暴力団員による不当な行為の予防に関する知識の普及及び思想の高揚を図るための広報啓発活動	ア 広報啓発資料の作成、配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 暴力団情勢と対策 (500部)</li> <li>○ 企業対象暴力の現状と対策 (1500部)</li> <li>○ 行政対象暴力の現状と対策 (800部)</li> <li>○ 暴力団排除ポスター (1000部)</li> <li>○ 暴力団勢力図 (2000部)</li> <li>○ 暴追センターだより2014版 (1500部)</li> <li>○ 暴力団排除ポスター (追加200枚)</li> <li>○ 広報用クリアファイル (3000枚)</li> <li>○ 少年啓発冊子「希望のいぶき」 (2000部)</li> </ul>		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ 広報用メモ帳	(2000部)	○
○ 4訂版暴力団排除条項活用のスズメ	(1000冊)	○
イ 広報媒体を活用した広報啓発		
○ イオンシネマにおける広告上映		○
○ 啓発看板の設置(2ヶ所)		○
○ 「二十歳の手帳(新成人配付)」への広報		○
○ わかやま電鉄貴志川線時刻表・橋本市コミュニティバス時刻表への広報		○
○ 和歌山バス(路線バス)へのラッピング広告 和歌山～橋本路線を追加		○
○ テレビ和歌山、和歌山放送等を活用した広報		○
○ 電光掲示板による広報(フォルテわじま)		○
○ イオンシネマにおける広告上映の更新(10月)		○
○ 各業界機関誌への広報		○
ウ 啓発資材の整備		
○ DVD「暴力団等反社会的勢力撃退法～いんでもらおら こないして～」(和歌山弁護士会民暴委員会)		○
エ 行政機関、各種業界・団体との連携会議出席		
○ 防犯功労者・功労団体表彰式(5/20)		○
○ 行政書士会総会(5/24)		○
○ 和歌山市地域安全推進員会総会(5/27)		○
○ 和歌山弁護士会新役員就任披露の会(5/27)		○
○ 銀行警察連絡協議会総会(5/28)		○
○ 和歌山県遊技業協同組合通常総会(5/29)		○
○ (公財)和歌山県防犯協議会連合会定時評議員会(6/6)		○
○ 和歌山県J A共済事業防犯対策委員会(6/9)		○
○ (一社)和歌山県産業廃棄物協会総会(6/10)		○
○ 銀行警察連絡協議会運営委員会(6/17・11/18)		○
○ 和歌山県損害保険防犯対策連絡協議会総会(6/20)		○
○ 生保警察連絡会総会(6/26・8/29)		○
○ 和歌山県企業防衛連絡協議会総会(7/1)		○
○ 和遊協社会福祉事業協力会定例評議員会(8/18・9/24)		○
○ 新宮市暴力追放協議会総会(8/22)		○
○ 和歌山県証券警察連絡協議会総会(8/26)		○
○ 安全・安心まちづくり県民大会(10/15)		○
○ 場外馬券発売所「タッシュ和歌山」内覧会(10/21)		○
○ 和歌山市ホテル旅館結婚式場暴力追放連絡協議会総会(11/10)		○
○ 和歌山県企業防衛連絡協議会運営委員会(11/14)		○
○ 和歌山市管轄警察署被害者支援・相談ネットワ		○

		<p>ーク総会(11/28)</p> <p>オ 企業・行政等に対する講習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 和歌山県警備業協会総会・研修会講義(6/20)</li> <li>○ 和歌山県市町村職員監督者二次研修講義(10/3、10/10、10/17)</li> <li>○ 橋本市労基署・職安合同研修会講義(1/15、1/16)</li> <li>○ 岩出市・紀の川市暴力団追放大会講演(2/13)</li> <li>○ 全日本不動産協会和歌山県本部法定研修会講義(2/24)</li> <li>○ えせ同和行為対策関係機関連絡会講義(2/26)</li> </ul> <p>カ 研修会の開催及び参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資産運用セミナー参加(7/31)</li> <li>○ 民事介入暴力対策研修会の開催(10/10)</li> </ul>			○	○	○	○	○		
	(2) 暴力追放大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第23回暴力追放県民・市民大会 平成26年11月6日(木)、和歌山市民会館小ホールにおいて、約700人参加により開催</li> <li>○ 開催に向けた担当者会議の開催 4月～11月6回</li> </ul>			◎	○			○		
2 民間の暴排活動支援事業	(1) 組織の活性化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 和歌山市ホテル旅館結婚式場暴力追放連絡協議会総会の開催(11/10)</li> <li>○ 不当要求防止責任者講習を活用した職域暴排組織結成気運の醸成(年間35回)</li> <li>○ 県警察、地域暴排組織事務局との連携による組織の活性化の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新宮市暴力追放協議会総会(8/22)</li> <li>○ 田辺市暴力追放決起大会(10/28)</li> <li>○ 岩出市・紀の川市暴力団追放市民大会(2/13)</li> </ul> </li> </ul>							○	○	○
	(2) 暴排事業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 田辺市暴力追放決起大会開催に伴う助成金交付(12/11)</li> <li>○ 岩出市・紀の川市暴力団追放大会開催に伴う助成金交付(12/11)</li> <li>○ 橋本市暴力団追放推進委員会に対する暴排広告掲載助成金交付(3/3)</li> </ul>			●	●	●				
3 相談活動事業	(1) 相談体制の整備・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 暴力追放相談委員の体制(本年度委嘱替え) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常勤 2名</li> <li>・ 非常勤 26名</li> </ul> </li> <li>警察OB 4名、弁護士12名、保護司5名、</li> </ul>			●						

		少年指導委員 5名 ※ 体制は変更無し		
	(2) 相談活動の充実	○ 相談受理状況 受理件数 5/17～12末141件 H26年間208件（前年比+93件） ○ 出張相談所の開設 田辺市暴力追放決起大会(10/28) 岩出市・紀の川市暴力団追放大会(2/13) ○ 暴力追放相談委員の知識技能の向上 ・ 全国暴力追放相談委員研修会への参加(7/16) ・ 暴力追放相談委員委嘱式・研修会の開催(6/4) 臨床心理士による講演の実施		○ ○ ○
4 少年に対する暴力団の影響排除活動	(1) 影響排除活動	○ 県内高校生からの暴排ポスター募集事業による啓発活動 ○ 各種講習、会議の場における広報啓発（「半グレ集団」等の実態広報）		○ ○
	(2) 少年に対する教育活動	○ 少年を暴力団から守るための啓発冊子「希望のいぶき」作成と県警組織犯罪対策課、少年課との連携による啓発活動の実施		○
5 暴力団離脱者支援事業	(1) 離脱希望者の把握と支援	○ 各種広報媒体、講習等における離脱者支援広報、足抜け電話(423-8918)の利用促進広報の実施 ○ 県警及び社会復帰アドバイザーとの連携による離脱希望者の把握と支援 ○ 社会復帰対策検討会の開催（4月25日） 県警本部組織犯罪対策課 4名 和歌山市内3警察署 6名 暴追センター 4名 ○ 離脱相談・支援3件3名→警察との連携による離脱実施 ○ 離脱者1名に対して、当センター「離脱者援助規程」に基づき離脱援助費を支給(8/20)		○ ○ ○ ●
	(2) 社会復帰対策の推進	○ 和歌山保護観察所等関係機関との連携による「和歌山県暴力団離脱者等社会復帰対策協議会」の活性化 ○ 受け入れ企業等の現状把握と開拓に向けた業務の推進		○ ○

6 事務所使用差止請求制度への対応	(1) 広報の実施	○ 各種講習、会議及び機関誌等の資料による広報の実施		○
	(2) 関係機関との連携及び情報収集	○ 県警、和歌山弁護士会民暴委員会等関係機関との連携		○
7 不当要求防止責任者講習事業	(1) 責任者選任事業所の拡大	○ センターだより等の機関誌、各種講習・会議等における不当要求防止責任者講習制度の広報 ○ 民事介入暴力対策研修会における必要性の説明と広報		○ ○
	(2) 講習の充実	○ 平成26年度における実施結果 実施回数35回（うち公務員講習9回）1,890人（うち公務員410人）受講（前年比 +119人） ○ 県警（OBを含む）、弁護士会等との連携による具体的内容の講義 ○ 視聴覚教材の活用	●	○ ○
8 救済事業	(1) 被害回復援助・民事訴訟等の支援	○ 実績なし 県警及び被害回復アドバイザーとの連携による支援を必要とする被害者の把握と支援 ○ 被害回復対策検討会の開催（4月25日）	●	
	(2) 保護対策	○ 緊急通報装置の貸出し→3月末現在なし		○
9 少年指導委員研修事業	(1) 研修会の開催	○ 5月13日 アバローム紀の国→48名参加		○
	(2) 少年指導委員活動への支援	○ 当センター委嘱暴力相談委員である少年指導委員への研修の実施(6/4) ○ 県警（少年課）との連携と活動支援→啓発冊子「希望のいぶき」の配布		○ ○
10 上記事業に附帯する事業	(1) 反社情報の提供	賛助会員に対する反社情報の提供→現在10事業所（前年比+2企業）	●	
	(2) 調査研究	○ 民事介入暴力対策研修会の開催(10/10) 県警・和歌山弁護士会・当センター・和歌山県信用農業協同組合連合会・和歌山県信用漁業協同組合連合会 59名参加 ○ 暴力団等からの不当要求実態調査→不当要求防止責任者講習時にアンケートを実施 ※ 平成27年度から結果をグラフ化しフィー	◎	○ ○

		ドバック		
	(3) 表彰関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 暴力追放県民・市民大会における表彰(11/6) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近畿ブロック暴力追放功労者 泉 房次朗 氏 堀 種藏 氏 白浜町商工会</li> <li>・ 和歌山県暴力追放功労者 畑野 富雄 氏、 田辺商工会議所</li> <li>・ 暴力団等排除優良企業顕彰 大興産業株式会社 (オートバックス)</li> </ul> </li> <li>○ 全国暴力追放運動中央大会における表彰(11/25) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 銅賞 坂本 みや子 氏</li> <li>・ 職員表彰 切目 正 氏 (少年指導委員) 谷本 英世 氏 (少年指導委員)</li> </ul> </li> </ul>	●	○
	(4) 全国・他府県との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近畿ブロックセンター研修会(10/20)、全国センター研修会(2/17)への出席</li> <li>○ 暴力追放兵庫大会(11/7)、同大阪大会(11/14)、同中央大会(11/25)への参加</li> </ul>	●	●
11 センター 運営業務	(1) 会議の開催等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定例会議 平成26年度第1回通常理事会 (5/19) 平成26年度定時評議員会 (6/10) 平成26年度第2回通常理事会 (3/12)</li> <li>○ 決議の省略(みなし決議) 任期満了に伴う専務理事選任の件 (6/10) 任期途中辞任した理事の後任理事選任の件 (7/1)</li> </ul>	◎	○
	(2) 財政基盤の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 賛助会員の獲得 平成26年度末現在 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法人→304法人、962口(内16口未納)</li> <li>○ 個人→51人、62口(内5口未納) (H26年度新規 法人10、個人2)</li> </ul> </li> <li>○ 資産の効率的運用→別に報告</li> <li>○ 寄附 和歌山県建設業暴力追放協議会 150万円 和歌山県警察共助会 100万円 (H25年度から11年間で1,080万円の寄附)</li> </ul>	●	●
	(3) 適正経理	税理顧問契約の継続(内藤会計事務所)と連絡調整	●	

◎ 理事長出席      ● 理事長決裁      ○ 専務理事出席・専決